

専用ロードバランササービスのご提案

■ ロードバランサとは？

サーバ負荷（ロード）の均衡を保つ（バランス）機器のことで、

大規模な Web サイトに集中するリクエストを複数のサーバに効率良く振り分けます。



■ どんな時に使う機器？

アクセスの多い大規模サイトを運用しているけど、この頃アクセスが集中し Web が重たい。

期間限定でキャンペーンサイトを立ち上げたいがアクセス集中に対して対策を行いたい。

24 時間 365 日サービスを止められない。どうしたらいい？



■ ロードバランサ仕様詳細

- 故障の原因となりうる回転記録媒体を排除
- ベースとなるOSには高信頼性のRed Hat Enterprise Linux ES 3
- マザーボードには耐負荷性能を誇るTYAN製
- LAN側に8ポートを標準提供

1	オペレーションシステム	Redhat EnterPriseLinux ES5
2	バランシングシステム	Ultra monkey LVS
3	記録媒体	SSD
4	ユーザインターフェース	WEB専用インターフェース
5	ポート	WAN側1 LAN側8
6	マザーボード	TYAN製



回転記録媒体を排除！



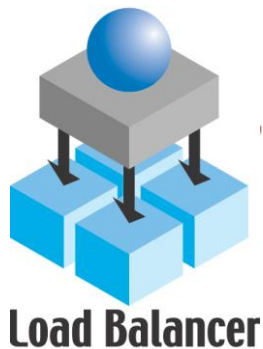
Red Hat Enterprise Linux ES 5

■ ロードバランサーで可能なネットワーク構成

スケジューリング・アルゴリズム

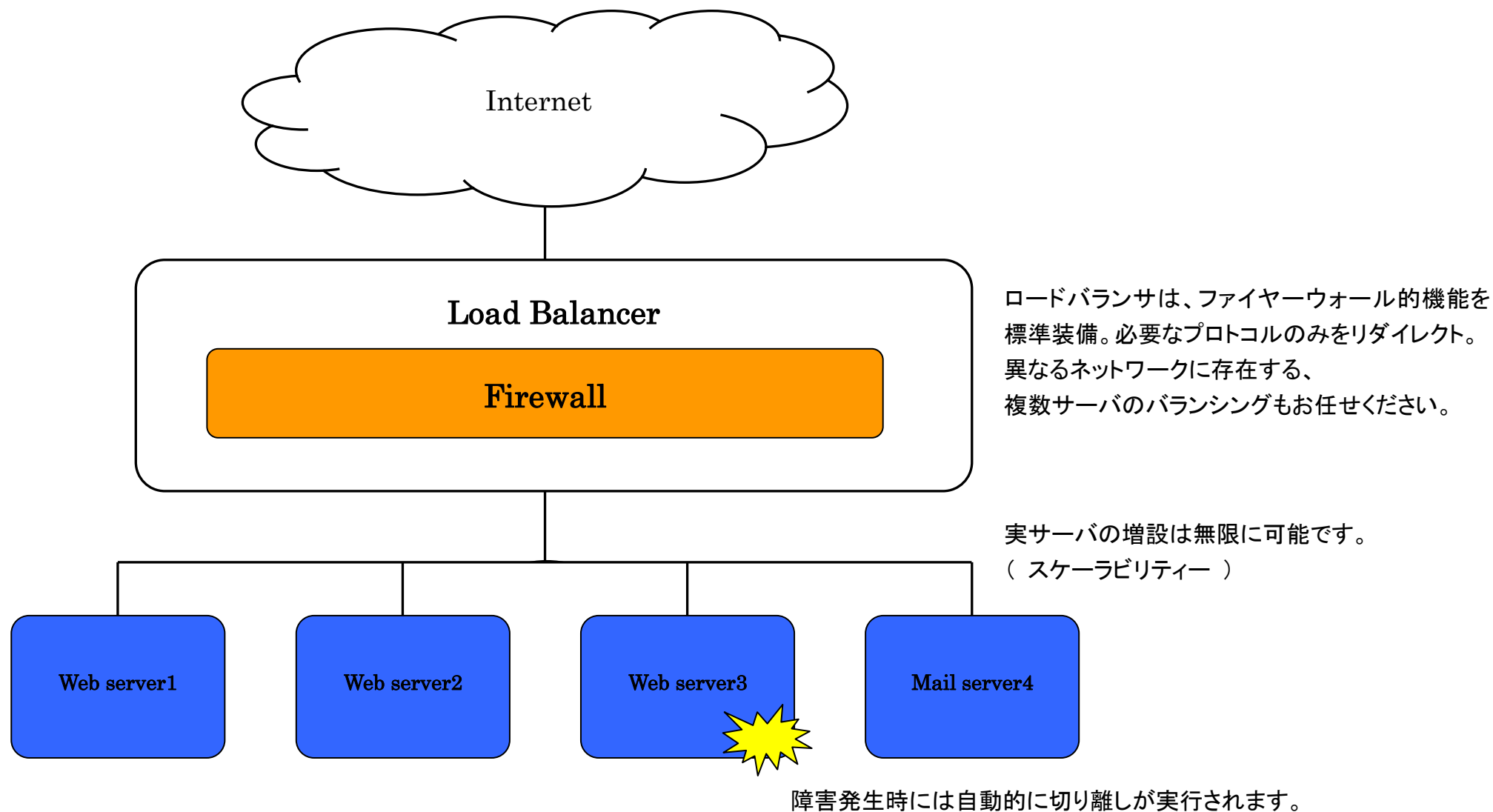
仮想サービスには、着信接続を実サーバに割り当てるのに使用するスケジューリング・アルゴリズムが割り当てられます。スケジューリング・アルゴリズムにはさまざまなものがあります。

- 最小コネクション (Least-Connection)
- 負荷に応じた最小コネクション (Weighted Least-Connection)
- ラウンドロビン (Round-Robin) :すべての実サーバに均等に接続を割り振ります。
- 負荷に応じたラウンドロビン
- 場所に応じた最小コネクション (Locality-Based Least-Connection)
- 場所に応じた最小コネクション、レプリケーションあり (Locality-Based Least-Connection with Replication)
- 送信先ハッシュ (Destination-Hashing)
- 送信元ハッシュ (Source-Hashing)



- ダイレクト・ルーティング
- IP-IPカプセル化
- Network Address Translation

運用例 A E-serverAdvance を利用した Dual Network 構成



■ 専用ロードバランサご利用料金（運用例 A）

（ E-serverAdvance を利用した Dual Network 構成 ）

[イニシャルコスト]

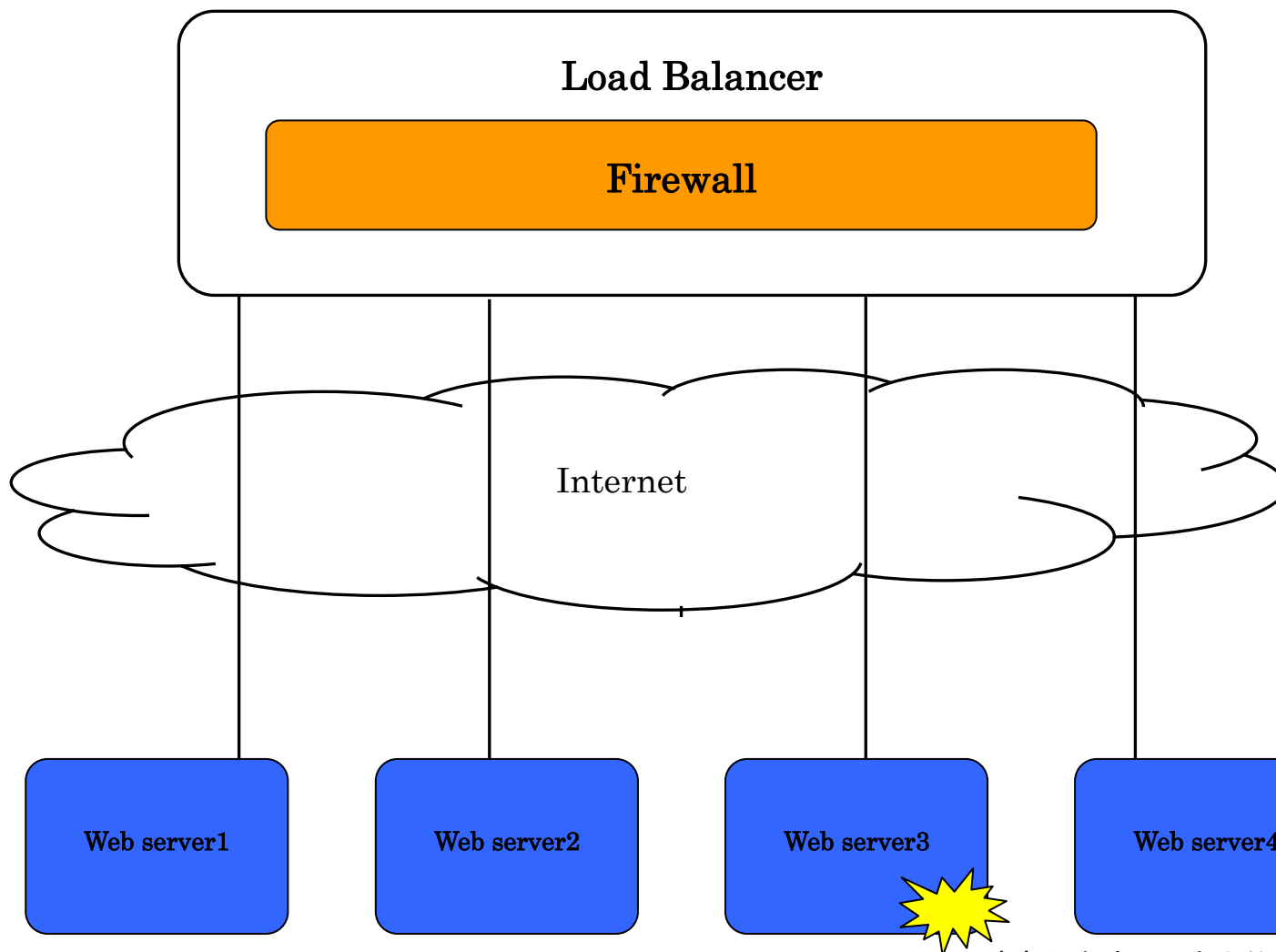
バランサ設定費用	10,000 円	
消費税	500 円	
イニシャルコスト合計	10,500 円	

[ランニングコスト]

バランサ月額費用	20,000 円	
消費税	1,000 円	
イニシャルコスト合計	21,000 円	

- ※ クラスタ IP (クライアントがアクセスする IP アドレス)の追加は、3,150 円/月にて承ります。
- ※ ご利用になるリアルサーバ (E-serverAdvance) の初期費用・月額費用が別途必要になります。

運用例 B E-server サービスを利用した Single Network 構成



ロードバランサは、ファイヤーウォールの機能を標準装備。必要なプロトコルのみをリダイレクト。異なるネットワークに存在する、複数サーバのバランシングもお任せください。

実サーバの増設は無限に可能です。
(スケーラビリティ)

障害発生時には自動的に切り離しが行われます。

■ 専用ロードバランサご利用料金（運用例 B）

（ E-server サービスを利用した Single Network 構成 ）

[イニシャルコスト]

バランサ設定費用	10,000 円	
消費税	500 円	
イニシャルコスト合計	10,500 円	

[ランニングコスト]

バランサ月額費用	20,000 円	
追加 IP オプション	3,000 円	クラスタ IP 用
消費税	1,150 円	
イニシャルコスト合計	24,150 円	

- ※ クラスタ IP (クライアントがアクセスする IP アドレス)の追加は、3,150 円/月にて承ります。
- ※ ご利用になるリアルサーバ (E-server サービス) の初期費用・月額費用が別途必要になります。